**日本生産管理学会『全国大会講演論文集』原稿執筆要綱**

（言　語）

第1条　原稿は和文・英文とする．

（句読点，和文字，括弧，英数字・記号，フォント）

第2条　句読点は，「，」「．」を使う．

1．和文字（カタカナを含む）および括弧（　），「　」，｛　｝，＜　＞の書体は，MS明朝・全角とする． 英数字・記号，および英数字・記号のみを囲む括弧( )は，Times New Romanとする．ただし，本文の章と節の見出し，および図題（図タイトル）と表題（表タイトル）はMSゴシックとする．

2．禁則処理をする．

（全体の構成，余白・行空け，太字）

第3条　原稿は，横書きで，A4用紙，カメラレディ（完全原稿）のワープロ原稿とする．

1．1ページ目に和文・英文の表題（論文の表題），和文・英文の所属氏名，和文の要約とキーワード，本文の順にこれらを書く．キーワードまでは１段組とし，本文以降は2段組とする．

2．ページ設定は，1段組の場合，1枚（1ページ）の字数を47字×40行×1段=1880字(10pt)，2段組の場合，23字×40行×2段=1840字(10pt)とする．

3．執筆順は，表題，所属氏名，要約，キーワード，本文，注，引用・参考文献，謝辞・付記・付録，著者略歴（各項目欄を「欄」と略す）とする．

4．余白は，論文の表題の上に3行分(10pt)とる．

5．行空けは，1行(10pt)とし，英文表題以降の各欄の上，章の見出しの上，および図表の上下に行う．

6．太字は，所属氏名と本文を除く欄（表題，要約・キーワード，注，引用・参考文献，謝辞等，著者略歴）のタイトルの記述に使う．

7．別紙・見本とテンプレートを参照のこと．

（枚数制限）

第4条　基調講演・特別講演論文6枚，一般講演論文・パネル問題論文2枚までとする．

（原稿の提出方法）

第5条　A4用紙を使用し，原稿のファイルを別に定める手順に従って提出すること．

（原稿の提出期日）

第6条　当該全国大会事務局の定める期日までに提出すること．

（表　題）

第7条　論文の表題は内容を明確に表現するもので，しかも簡潔なものが望まれる．必要に応じて副題を付けてもよい．副題は主題のすぐ下に書く．

1．和英表題はともに13pt太字・中央とし，和英副題はともに11pt太字・中央とする．英文表題はその上に（すなわち，和文表題の下に）１行(10pt)空けて書く．また，副題は和英とも，前後に「―」（全ダッシュ）を付ける．

（例）

**生産マネジメントの理論**

**―実践との関連性を踏まえた―**

 **Theory of Production Management**

**―Based on the Relevance to Practice―**

2．論文が一連の研究の部分である場合は，その一連の研究の名称とそれとの関連（たとえば第3報）を論文の副題として付記することができる．

（例）

**海外工場におけるISO14001の導入例**

**―環境管理と生産管理（第3報）―**

3．英文表題の大文字ルールは，初めと終わりの単語，名詞，代名詞，動詞，形容詞，副詞の頭文字は大文字とし，その他，冠詞，前置詞，接続詞，不定詞のtoは小文字とする．不明な場合は一般的な大文字ルールに準拠する．

（所属氏名）

第8条　所属氏名は，表題の下に1行空けて12pt右寄せで書く．和文所属氏名の下に英文所属氏名を書く．同一著者の所属と氏名の書き順は，和英とも，所属，氏名の順で，それぞれ同じ行に書く．

1．和文氏名の書き順は「氏」「名」とし，英文氏名は「名」「氏」の順とする．英文氏名「氏」「名」は頭文字だけ大文字とし他は小文字とする．

（例）Taro SuzukiI

2．共同研究・共著の場合で，同一所属著者があるときは，1行3名までを限度とする．なお執筆順位の関係で，同一所属著者でも別途記してもよい．また，和文と英文を各グループに分けて書く．

（要約・キーワード）

第9条　この欄は和文のみで，要約(9pt)は7行程度とし，キーワード(10pt)は10語句以内とする．また当欄は左右のインデントを「3字」に設定する．

　　以上までは1段組とする．

（本　文）

第10条　本文以降，2段組とし，フォントサイズは10pt（ポイント）とする．

1．数式はイタリック体とし，別行に記し，末尾に通し番号を付ける．

2．本文は，はじめに（序論，序，問題提起など），本論，おわりに（結論，結，むすびなど）の順に記述する．本論は，章，節，項の区別を明確にし，それぞれ下記（例）のように番号を付ける．

3．章節項の番号と見出しの間は全角スペースとする．

（例）

1　はじめに

＜章見出しの上は1行空ける．＞

2　企業とシステム

2.1　企業とは

2.2　システムとは

2.2.1　システムの構成要素

(1)　人間の要素

4．人名は，原則として，原語で表記する．ただし，広く知られているもの，また印字の困難なものについてはこの限りではない．

5．図表（写真）は，図1，図2，…，表1，表2，…のように通し番号を付け，その後に図題，表題を付ける．図番・図題は図の下に，表番・表題は表の上に付ける．出典（出所，備考等）は，図の場合は図題の下に，表の場合は表の下に明記する．

　第3条5項の図表の上下に空白行を設けることを含めて再掲すると，図または表題の上部に１行の空白，および出典の下（出典がない場合は図題の下または表の下）に１行の空白行を設ける．

（図の例）

（空白１行）

＜図＞

図1　図題

（出典）情報源，引用・参考文献など．

（空白１行）

（表の例）

（空白１行）

表1　表題

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ＜表＞ |  |

（出典）情報源，引用・参考文献など．

（空白１行

図表は原稿用紙には直接印刷するかオブジェクトを貼り付ける．（講演論文集の刷上りはA4版である．）

（注）

第11条　注は，本文当該箇所に[注1]， [注2]， …を付けた上，本文の後にまとめて，[注]の欄をつくり，1，2，…と番号を付して番号順に記述する．

（例）

**[注]**

1．ここで，生産管理と環境管理の関連性は・・・．

2．ISO14001は国際標準であるが，・・・．

・・・

**（引用・参考文献）**

第12条　本文中で引用・参照した文献を，[注]の後に（引用・参考文献）の欄をつくり，そこに一括して[1]，[2]，[3]，…のように文献番号を付けて記述する．なお，本文中で同じ文献を複数回引用・参照した場合の文献の当欄における記述は，その文献の最初の記述のみとする．

1．引用・参照した文献は，本文中では，当欄の文献番号を用いて，たとえば文献[3]のpp.3-5を参照した場合，当該箇所に“([3]pp.3-5)”のように記述する．引用・参照したページを当該箇所で書かない場合には，“[5]”として括弧“(　)”を書かない．

（例）QCDは・・・([3]pp.3-5)．工程は・・・[5]．

また著者名に言及する場合には，“著者名([6]p.105)”のように記述する．

（例）鈴木([6]p.105)によれば，・・・

2．欧文引用・参考文献の著者名の記述方法は，次のような「略記する方法」をとる．すなわち，「ラストネーム，ファーストネームの頭文字，ミドルネームの頭文字（ミドルネームがある場合）」とする．

（例）Brown, J. and Johnson, A. W.

3．欧文の書名は正体，誌名はイタリック体とする．和文の場合，書名は二重鉤括弧『　』で囲むが，誌名は括弧で囲まない．

4．雑誌（著書）の中の論文名または記事名は，欧文の場合は“　”で囲み，和文の場合は「　」で囲む．

5．著書や雑誌の記述順は，英文文献・和文文献の順とし，それぞれ著者名（機関名等を含む）のアルファベット順，50音順とする．同一著者の文献は発行年の古い順とする．和欧とも，著書の場合，著者名：書名，出版社名（発行年）の順で，また雑誌の場合，著者名：論文名または記事名，誌名，巻号，ページ（発行年月）の順で記述する．著者名が不明の場合には，英文文献・和文文献のそれぞれ末尾に記載する．

6．Webページの場合，「作成者名または著者名（分かれば）：「タイトル」（発表年月日（分かれば）），URL（閲覧年月日）」のように記述する．

7．新聞記事の場合，「新聞名：「記事名」（著者名（分かれば）），（発行年月日，朝夕刊の別，面）」のように記述する．

8．引用・参考文献の記述例

**（引用・参考文献）**

[1] Brown, J.: Operations Management, Pacific Production Press, Tokyo (2012).

[2] Brown, J., Johnson, A. W. and Smith, J.: Production Management*,* Pacific Production Press, Tokyo (2012).

[3] Johnson, A. W.: “The Elements of Production System”, in Brown, J. (ed.): Production System, Pacific Production Press, Tokyo (2012).

[4] Sato, Y.: “History of MOT”, *Journal of Production*, Vol.1, No.2, pp.21-26 (September 2012).

[5] 鈴木太郎，山田一郎：「工程改善」，生産ジャーナル，第1巻，第1号，pp.11-18 (2012/03).

[6] 鈴木太郎：『生産管理論』，生産出版 (2013).

[7] 日本生産管理学会：「学会ニュース　第39号」(2012/06/01),http://www.e-jspm.com/document/news/JSPMNews\_No39.pdf（2013/02/13閲覧）.

[8] 生産新聞：「新聞記事を参照した場合の参考文献の書き方」（山本権）（2013/02/13，朝刊，5面）．

9．その他，疑義ある場合は，通常広く認められている書式を一貫して使用すること．

**（謝辞・付記・付録）**

第13条　必要があれば，謝辞，付記，あるいは付録を引用・参考文献の後に書く．

**（著者略歴）**

第14条　著者略歴は原稿の最後に書く．氏名：出生都道府県（国），誕生年，最終学歴，学位（取得大学），現職，所属学会，主要著書／論文等を記述する．なお著者が複数の場合は，「所属氏名」の掲載順に著者全員について記述する．

（要綱の変更または廃止）

第15条　本要綱の変更または廃止は，編集委員会の議決によって行う．

附　則

1．本要綱は2001年3月24日から施行する．

2．本要綱の施行と同時に，元の執筆要綱「日本生産管理学会『講演論文集』および『学会誌』論文原稿執筆要綱」を廃止する．

3．本要綱は2007年3月17日改訂する．

4．本要綱は2018年3月1日改訂し，2018年4月1日から施行する．

**原稿の組み方見本（『講演論文集』）**

図表がページの最上部に来たら，上の行空けは不要．

別紙1（第1ページ目と1段組のレイアウト）　　　　　別紙2　（最終ページ）

000000000000

（出典）○○○○．

（左寄せ）

本　文

本　文

**謝辞・付記・付録**

(10pt)

3行(10pt)余白

表番　表題

表

図

**著者略歴**

(10pt)

**（引用・参考文献）**

(10pt)

**[注]**

(10pt)

図表がページの最下部に来たら，下の行空けは不要．

図番　図題

（出典）○○○○（左寄せ）

左インデント3字

右インデント3字

25mm

40行

47字

本　文

**要約：**以下，要約文(9pt)

**キーワード：**以下，語句(10pt)

**和文表題(13pt)**

**英文表題(13pt)**

25mm

25mm

25mm

本　文(10pt)

和文所属　氏名，氏名(12pt)

和文所属　氏名(12pt)

英文所属　氏名，氏名(12pt)

英文所属　氏名(12pt)